



自然と共生する豊かな暮らし  
「わざ技とえだし縁のまち 飯山」



飯山市第5次  
総合計画

概要版

飯山市

## 「自然と共生する豊かな暮らし」の 実現を目指して



飯山市長 足立 正則

このたび飯山市では、平成25年度から10年間のまちづくりの指針となる「飯山市第5次総合計画」を策定いたしました。

近年、急速に進む人口減少と少子高齢化、経済のグローバル化、高度情報化、東日本大震災を契機とするエネルギー政策の見直しなどによって私たちを取り巻く社会情勢は大きく様変わりしています。また、社会経済的な価値観もこれまでの大都市集中型の経済成長モデルから、自然の恵み、風土、伝統文化、伝統産業、暮らしなどといった地方にしかない資源が再認識され、その価値が世界的にも注目されはじめています。このような時代の流れの中で、飯山市には、豪雪に守られた自然生態系、景観、風土、雪国ならではの生活の知恵や伝統文化など時代が求めている資源があふれています。それに加えて、平成27年春には北陸新幹線飯山駅開業という最大のチャンスがめぐってきます。

市民の皆様一人ひとりの手によってこの豊かな

資源から新たな価値を創造し、広域的な連携やネットワーク、つながりを通じ、市をあげて国内外に広くその価値観を発信し、「訪れたいまち、住み続けたいまち 飯山市」をつくっていくことが、これからの10年間の最大のテーマであると考えます。

私たちを取り巻く社会情勢は、今後さらに急速に変化することが予想されますが、その変化に対応するためには、ニーズを的確にとらえながら、課題を迅速に解決することが何よりも重要です。この計画で目指す将来都市像の実現に向けて、これからも市民の皆様、市内外の民間企業、団体の皆様の参画を得て、情報を共有しながら知恵と力を結集し、事業を実施してまいります。

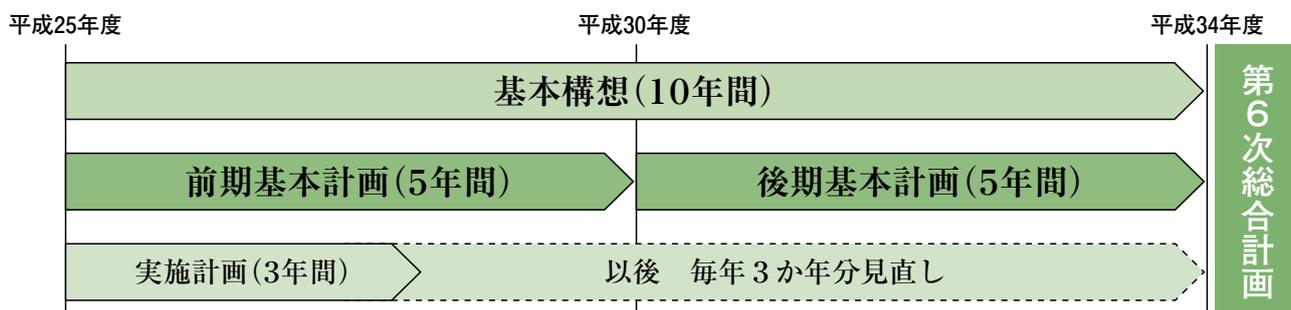
策定にあたり熱心なご議論と貴重なご提言をいただきました多くの皆様にご心から感謝申し上げますとともに、計画達成に向けて市民の皆様方のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

## 第5次総合計画の期間

飯山市第5次総合計画は、10年後の飯山市の将来都市像を描き、その実現に向けた方向性や目標を示した行政運営の最も基本となる計画です。総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画の3つで構成されています。



### ■ 第5次総合計画の期間



## 将来都市像の実現と課題解決を目指して

第5次総合計画基本構想では、北陸新幹線飯山駅開業を当市最大の好機と捉え、住みやすく、安心やゆとりが実感できる生活を送ることができる「自然と共生した新たな価値創造の都市」として更に発展することを目指し、新幹線開業後の都市像と目指すべき方向性を明らかにしています。

また、本計画の策定にあたっては、第4次総合計画を総括した上で、「北陸新幹線飯山駅開業」、「人口減少」、「地域の産業振興」及び「安心して住み続けられる地域づくり」の4点を飯山市の課題（今後10年間の変化と対応）としており、これらは、いずれも早急に対策を講じなければならない重要なものと位置づけています。こうしたことから、前期基本計画はこれらの課題の解決と将来都市像の実現に向けた取り組みを具体的に進めるための計画とする必要があります。

前述の諸課題のうち、とりわけ「人口減少」については、少子高齢化とともに全国規模で急速に進んでいることに加え長引く経済の低迷やライフスタイルの多様化等も影響し、一朝一夕に解決の糸口が見いだせる状況にはありません。しかしながら、人口は市全体の活力の源であり、地域経済や地域の存立を左右する重要な要素となるものであることから、北陸新幹線飯山駅開業を契機として、住宅、移住定住、産業振興、子育てといった行政分野をはじめとしてあらゆる面で人口の維持・増加に向けた取り組みを全市的に進めていく必要があります。

こうした状況を踏まえ、本計画においては、「将来都市像の実現」を目指すための重点的なプロジェクトと施策を定め、中長期的な展望をもちながら市民との協働、関係団体等との連携・協力関係の下で施策を着実に進めていきます。

## 「自然と共生する豊かな暮らし」－自然共生圏－

高度経済成長期において、我が国全体が工業化と経済成長に基づく近代化を志向した結果、地方から大都市へと一方的に人と資源を集中させ、都市における工業生産や輸出等によって得た資金を地方に再配分するという枠組みによって急速に経済成長を遂げてきました。その一方で、開発から取り残された地方では、時代の流れとともに地域の活力となる産業が育つことなく過疎化が進行しました。

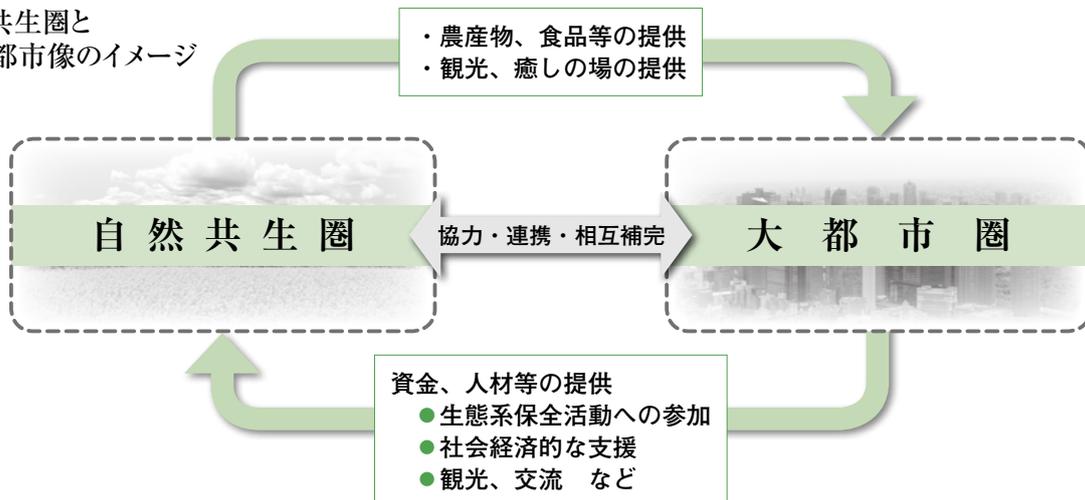
ところが近年、経済のグローバル化、人口減少、少子高齢化の進展、大規模災害を契機としたエネルギー政策の見直しなどによって、こうした都市集中型の社会構造は終焉を迎えたとも考えられています。

こうした時代にあって飯山市が今後取るべき方向

性として、今回の総合計画では「自然と共生する豊かな暮らし」を将来都市像として掲げました。これは、自然の恵みや価値を再認識し、自然の力を享受し、自然の美しさと調和した暮らしを目指すものであり、これまでの高度成長期のような都市型の成長モデルとは対極に位置するものと言えます。

私たちの飯山市は、豪雪によって守られてきた自然生態系や景観、風土、生活の知恵、伝統文化など豊富な資源に恵まれています。北陸新幹線飯山駅が開業し、大きな転換期を迎える飯山市は、今後この「自然との共生」を施策展開の中心に据え、自然・社会地理的条件を踏まえた地域の特性を活かし、あらゆる資源から価値を生み出す持続可能な「自然共生圏」の構築を目指します。

### ■自然共生圏と 将来都市像のイメージ



# 前期基本計画における総合的な施策体系

将来都市像  
自然と共生する豊かな暮らし「わざ技と縁えにしのまち飯山」

第1章  
自然共生による新しい  
価値観の発信

産業連携

自然景観

克雪・利雪・自然エネルギー

環境保全

情報化と情報発信

第2章  
飯山の四季の美しさを  
活用したまちづくり

まちの玄関・顔づくり

土地利用と環境

道路

公園

上下水道

第3章  
高速交通網による  
交流の促進

観光・交流

公共交通

第4章  
地域産業おこしと  
若者定住

産業技術支援

農林業

商工業

雇用・就業

住宅・移住定住

第5章  
たくましさわざと郷土愛を  
育てる教育

学校教育

生涯学習

地域文化の振興と発信

スポーツ・レクリエーション

人権・男女共同参画

第6章  
子どもから高齢者まで  
安心して暮らせるまち

地域福祉

高齢者福祉

障がい者福祉

子育て

保健・健康

医療

防災

消防・救急

防犯・交通安全

消費者保護

行財政

広域連携

市民協働

# 創ろう、飯山市らしさ ～重点施策～

	行政分野	施策	市	市民	民間	
第1章 自然共生による新しい価値観の発信	産業連携	産業間連携による付加価値や魅力の向上	生産、製品開発、流通、販売等の幅広い連携促進による「飯山」のブランド化への取り組み	○	○	○
		人材や組織の連携推進	異業種や産学官等の多様な連携促進	○	○	○
	自然景観	自然環境の保全と動植物の保護	市民共有財産としての農地や里山の保全活動推進		○	○
		良好な景観形成の推進	自然環境保全対策の推進 景観形成基本計画による飯山らしい景観形成	○	○	○
	克雪・利雪・自然エネルギー	克雪対策の維持・確保	生活道路の安定した除排雪及び消融雪施設の維持	○	○	
		多様な利雪対策の充実と自然エネルギーの活用研究	自然エネルギーの活用や研究への支援	○	○	○
	環境保全	環境意識の高揚と自然環境の活用等の充実	測定、監視、相談体制の充実 市民運動の展開	○		
		ごみの減量と再資源化の推進	ごみ減量の推進	○	○	○
情報化と情報発信	情報発信力の強化	インターネットを最大限活用した情報発信	○	○	○	
第2章 飯山の四季の美しさを活用したまちづくり	まちの玄関・顔づくり	新幹線駅周辺の整備	駅周辺の幹線道路と広域観光道路網整備推進	○		
			交通結節点としての駅前広場や駐車場の整備推進	○		○
		新幹線駅と飯山線駅の統合推進	○			
		観光案内・待合機能の整備推進	○	○	○	
	交流シンボル拠点の整備	「(仮称)飯山ぶらざ」の整備推進	○	○		
	にぎわいあふれる街並みの整備	「飯山まちづくりデザイン計画」に基づく回遊性のあるまちづくりの整備推進	○	○	○	
	土地利用と環境	機能的で文化的生活ができる都市環境の形成	公共施設や案内表示等へのユニバーサルデザイン導入推進	○		
	道路	広域幹線道路ネットワークの充実	国県道の整備促進	○		
		生活道路ネットワークの充実	新幹線飯山駅を中心とした補助幹線道路の整備	○	○	
公園	都市公園や歴史公園の整備充実	市民、来訪者がともに楽しめる飯山城址公園の整備	○	○		
上下水道	上水道の充実	安全でおいしい水の安定的供給	○			
	下水道の充実	処理場の機能強化	○			
第3章 高速交通網による交流の促進	観光・交流	広域観光連携の強化	新幹線駅を核とした広域観光の推進	○	○	○
			広域プラットフォームの組織化による観光戦略の共有	○	○	○
		観光ホスピタリティ(おもてなし意識)の充実促進	「おもてなし」のまちづくり		○	○
			観光案内ガイドの育成	○	○	○
	多様な観光プログラムの充実促進	外国人が訪れやすい環境づくり	○	○	○	
		テーマ・ツーリズムの推進	○	○	○	
公共交通	多様な交流の促進	都市交流による市民レベルの地域間(国際)交流		○	○	
	北陸新幹線飯山駅を中心とした2次交通網の構築	北陸新幹線飯山駅を拠点とした2次交通網の構築	○		○	



	行政分野	施策	市	市民	民間	
第4章 地域産業おこしと若者定住	産業技術支援	新産業の創出と既存産業の付加価値向上の支援	地域資源と特色を活かした新産業の創出支援	○	○	○
			伝統産業等既存産業の高付加価値化の支援	○	○	○
		地域経済コーディネーターの育成支援	地域経済コーディネーター育成支援	○		○
		地域資源を活用した起業支援と付加価値向上の支援	起業等への支援・経営指導	○		○
			新商品開発・既存商品高付加価値化	○	○	○
		食産業の育成支援	食関連の企業化支援	○	○	○
			地域食材を活かした食の場の創出支援	○	○	○
	食のブランド化の推進、情報発信		○		○	
	農林業	担い手や農業集団・組織の育成、農地利用集積	意欲ある農林業経営体や担い手の育成	○		○
			新規就農者の支援	○		
			経営体や担い手への農地集積の推進	○		○
		地域らしさのある営農振興	地域に適した安心安全な農畜産物生産		○	○
			農産物加工、直販等による付加価値化		○	○
	商工業	商業空間・商業基盤の充実促進	商店街の活性化支援	○		○
		工業基盤の充実と活用促進	企業誘致の優遇策充実とPR	○		○
	雇用・就業	就業を通じた地域定着の促進	通勤・通学支援	○		
	住宅・移住定住	移住定住に向けた環境整備	新産業立地推進	○		○
			移住者の住宅建設支援			○
		市営住宅の維持と更新	市内若者定住支援	○		○
			世代に適応した住宅の提供	○		
第5章 たくましさと郷土愛を育てる教育	学校教育	学力・体力向上事業の充実	空き家バンクの斡旋	○	○	
			学力向上の取り組み	○		
		教育環境と教育施設の充実及び検討	国際感覚を養う取り組み	○	○	○
			飯山らしい学校教育の推進	○	○	
	小学校適正規模の検討		○	○		
	生涯学習	地域で支える教育環境の推進	城南中学校・給食センターの移転	○		
			ふるさと教育の推進		○	
	生涯学習	生涯学習意識の高揚	多様な生涯学習活動充実	○	○	
		知の循環型社会の構築推進	市民のもつ技術・技能活用場の創出		○	
	地域文化の振興と発信	伝統文化の尊重・継承	文化遺産の振興と活用	○	○	○
		「(仮称)飯山ぶらざ」の多面的活用	運営主体の構築	○	○	○
		芸術文化施設の充実	寺まち交流館(人形館)の充実活用		○	○
	スポーツ・レクリエーション	スポーツやレクリエーションの振興	生涯スポーツ活動の推進		○	
			スポーツ・ツーリズム事業(広域市町村連携型、北陸新幹線飯山駅を基点としたイベント等の開催)の推進	○	○	○
	人権・男女共同参画	関連団体と人材の充実	スポーツクラブ、関連団体の支援	○	○	○
			人権意識の向上	人権尊重意識の向上と人権学習の推進	○	○
	男女共同参画	男女共同参画社会づくりの推進	女性の社会参画促進	○	○	○



行政分野	施策	市	市民	民間			
地域福祉	福祉意識の高揚	地域福祉意識の高揚と活動推進	○	○			
	地域に根ざした福祉の担い手育成	ボランティア団体、NPOの育成とネットワークづくり	○	○			
	社会福祉関連事業の推進	災害時における要援護者対策の強化	○				
高齢者福祉	地域包括支援センターの充実	介護予防事業の充実	○				
	高齢者福祉の充実	在宅介護援助体制強化	○				
障がい者福祉	障がい福祉サービスの充実	障がい福祉サービス基盤の充実	○		○		
	多様な障がい者支援の充実	障がい者の地域活動への参加の支援	○	○			
子育て	子育て支援の推進	第3子以降保育料無料化など子育て世帯の負担軽減	○				
		子育て支援の充実	○	○	○		
	医療サービスの充実	24時間体制の緊急医療体制確立	○				
保健・健康	健康意識の高揚	0歳から中学生までの医療費負担軽減	○				
		地域で支える子育て環境整備の推進	地域・家庭・学校が連携した青少年健全育成	○	○		
医療	健康意識の高揚	健康増進計画の推進	○	○			
		多様な健康ニーズへの対応	健康増進と介護予防推進 健康管理と疾病予防推進	○	○		
防災	地域中核医療機関の整備・充実	地域中核医療機関の整備支援	○				
		医療人材の確保	○		○		
消費者保護	多様な医療ニーズへの対応	救急医療体制、休日夜間診療体制の整備促進	○		○		
		大規模災害対策の推進	広域避難体制の確立	○	○		
			治山・治水事業の推進	千曲川改修整備事業等の推進	○	○	
			災害危険性の低減・抑制	住宅、建築物等の耐震化の推進	○	○	
行財政	地域ぐるみの防災体制充実	自主防災会の設置推進			○		
		消費保護の推進	消費保護、賢い消費者育成	○	○		
広域連携	効果的で質の高い行政運営の推進	人材育成基本計画等に基づく職員の政策立案と実施能力向上	○				
		人材育成基本計画等に基づく職員の課題解決能力の向上	○				
市民協働	安定と活力ある財政運営の充実	納税意識の高揚と収納率向上	○	○			
		新たな広域連携の推進	観光交流都市協定に基づく連携の推進	○	○	○	
市民協働	災害時応援協定に基づく連携の推進		市民と市の協働にむけた意識づくり	○	○	○	
		まちづくり市民活動の促進	地域活動活性化支援	○	○	○	

第6章 子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち



将来都市像

# 自然と共生する豊かな暮らし 「<sup>わざ</sup>技と<sup>えにし</sup>縁のまち 飯山」

## 自然との共生

飯山市の四季の美しさ・豊かな自然は、大都市では決して手に入れることのできない貴重な財産です。厳しくもかけがえのない自然環境を守りながら、飯山市の気候、地形、特性等を踏まえ、人と自然とが調和した快適で持続可能な豊かな暮らしを創出します。

## 技を磨く

飯山市には素晴らしい地域資源や素材が豊富にあります。しかし、人の「技」がなければそこから価値を生み出すことはできません。地域の暮らしを支えてきた産業の技を更に磨くとともに、新しい活用技術にチャレンジし、新たな価値創造を目指すとともに「飯山のブランド」を全国に発信します。

## <sup>えにし</sup>縁はぐくむ

人と人、人とモノ、地域と地域など、あらゆるつながりやネットワーク、関わり合いによって生み出される社会を取り巻く様々な動きを「縁(えにし)」と捉え、新幹線によって新たに結ばれる縁とともに、これまで先人が培ってきた地域で互いに支え合う縁をまちづくりの柱として更にはぐくみます。

地域や都市との連携、交流を進め、それぞれに特徴をもつ地域が相互に補完し合うことによって、「訪れたいまち、住み続けたいまち 飯山市」をつくります。



## 飯山市第5次総合計画 — 概要版 —

平成25年3月

飯山市総務部企画財政課

〒389-2292 長野県飯山市大字飯山1110-1 Tel. (0269) 62-3111 Fax. (0269) 62-5990